

奈良県吉野町における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末時点の活用率	未執行額の利用方針
活用額（円）	121,321,326	47,379,361	168,700,687	94%	施業が放置された森林の間伐事業等、森林の公益的機能の維持・向上に向けた取組に利用
譲与額（円）	135,020,000	45,150,000	180,170,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
		うち 森林環境譲与税		
森林整備	人工林の整備等	20,885,588	20,885,588	森林所有者との協定に基づき約32haの間伐、7箇所（延長3,405m）の林道修繕、危険木伐採補助の交付等を実施した。
森林整備	森林整備の準備作業	16,126,000	16,126,000	約900haの意向調査、約500haの森林地番参考図を作成した。
人材育成	市町村体制の確保	7,403,273	7,403,273	奈良県フォレスターの受け入れを実施した。
普及啓発	森林環境教育	2,964,500	2,964,500	森林環境学習プログラムの造成及びインタークリターの養成を行った。
	基金取崩	2,229,361		(吉野町) 森林環境整備促進基金
	合計	47,379,361	47,379,361	

■今後の実施計画

①人工林の整備

意向調査を活用し、協定に基づく施業放置林間伐事業等を推進する。
年間40ha程度を目標とする。

②森林整備の準備作業

令和10年を目標として、森林経営意向調査の全域実施に取り組む。
森林所有者情報の整理や森林地番参考図等の作成に取り組む。

③人材育成・普及啓発

森林に関わる人材の育成、将来人材確保に向けた普及啓発に取り組む。

■事業の実施状況

【森林環境学習プログラム造成支援事業】

